

名身連通信

令和2年 春号

社会福祉法人

名古屋市身体障害者福祉連合会

HP: <http://www.meishinren.or.jp/>

入社式開催

令和2年4月1日(水)に入社式が行われました。新型コロナウイルスの影響により、全員マスクを着用し記念写真も机に座ったままと例年と異なる入社式です。今年度は新たに13名が入社し、それぞれのセクションへ配属されます。新入社員の活躍を、ご期待ください!

新入社員から一言

福祉サービスの仕事ははじめてで知識も経験もありませんが、一日も早く仕事を覚え、障害のある方の一助となれるよう精一杯がんばります!



2020年度事業計画について

新たなチャレンジ

今年度、名身連では新たに就労移行支援事業として犬山市に「サニーライフめいしんれん」、グループホーム事業として中村区に「名身連グループホーム中村」を開設しました。2事業所の開設は名身連として新たなチャレンジとなります。

犬山事業所においては、初めて名古屋市外での事業展開となり、これまでの経験をもふまえてより多くの方に支援が届けられるように円滑に事業を進め、犬山市近郊の障害のある方や関係者に名身連の事業所の開設を喜んでいただけるように努力していきたいと思えます。

グループホーム事業は、初めて夜間の支援を行う施設の開設となります。日中支援に加え、夜間の支援を行うことでより一体的な支援を行います。地域で安心して暮らすために、ご家族や関係者の力も借りながら一人ひとりの状況をふまえた自立生活を目指します。

専門性を高める

名身連では、継続して職員の支援技術を高めるため、法人内研修や施設外研修に取り組み、職員も専門職としての意識を持ち日々研鑽しています。

なお、3月の理事会ならびに評議員会において承認された法人全体の令和2(2020)年度事業計画について7月末のホームページにてご覧いただけます。



←名古屋市身体障害者福祉連合会ホームページ

スマートフォンの標準カメラで読みとってください

さくひんてん はなひら 作品展で花開く

ねん げつ みち
～1年6カ月の道のり～

だいに せいかつかいご さか たけい こ
第二WD生活介護・坂田恵子さん



2月に開催された第54回名古屋市障害者作品展示会で見事CBC賞を受賞された坂田さん。左半身にまひがあります。絵画で出品するのは初めてですが、サーカスのテントを中心に大きな画面いっぱいに散りばめられた貼り絵のモチーフが美しく、心惹かれる作品です。2月17日に福祉センターでお話を伺いました。

Q 昨年まではキットを使って手芸作品などを出品されていましたが、今回どうして絵にしたのですか？

A 右目が見えづらくなり手芸が難しくなりました。テレビで貼り絵をしているのを見かけ、チャレンジしました。

Q とても大きくてすみずみまで楽しい絵ですね。テントの外の空や町もにぎやかで。

A 描き始めたら、紙の大きさが足りないと思って、継ぎ足してもらいました。空には和紙を貼ったりして雰囲気を出しました。デイだけでは作業が間に合わず、家に持ち帰って頑張りました。

Q サーカスは実際見に行かれましたね。

A はい。10月にガイドヘルパーさんと一緒に木下大サーカスに行きました。ディズニーのショーやコンサートも好きで、自分で貯めたお金でチケットを買って出かけています。

坂田さんは、平成30年の夏から名身連ヘルパーセンターをご利用です。最初は家の近所を散歩するだけでしたが、デイの社会生活力プログラムを経て、少しずつ自分の行きたい場所に遠出するようになりました。

けれどもバスや地下鉄に乗り慣れず、歩き疲れることもあったので、外出計画を立てることにしました。初めてのうちはデイの職員と一緒に、最近では自分で交通機関や外出先の情報を調べてスケジュールを作り、ヘルパーセンターにメールで伝えてあります。スケジュールをヘルパーさんと共有することで、外出がスムーズになり、昨夏には三重県津市で開催されたジブリの展示会まで足をのばすことができました。

Q 自分で外出するようになり何か変わりましたか？

A 最初、家族はヘルパーさんを使うことに反対していましたが、自分で旅行に行ったこともなかったくらいです。最近はいろいろ工夫できるようになりました。例えば、あせって転んだりしないよう早めに出かけるとか、バスの候補をたくさん考えておき、座って乗れるようにとか。お金もお小遣い帳をつけて計画的に買いたいものを買う。絵のフレームも大きさを測って自分で買いに行きました。

Q 作品づくりも変わりましたか？

A サーカスや展示会の絵からずいぶん影響を受けたと思います。

Q この先やりたいことはありますか？

A 来年ディズニーシーに行くという夢があるので、そのために頑張りたい。以前はそんな夢は持てなかった。でも今は夢が叶うかと思えるのです。

「そのときどうしてもほしいもの、やりたいことを、ひとつずつ」と坂田さんが言っていたのが印象的でした。本当にその通り、ひとつずつ根気強く実現してきたのを名身連の職員たちは知っています。行動範囲が広がっただけでなく、心も伸びやかに広がっていったので、こんなふうに見る人を楽しくさせる作品が生まれたのでは、と私たちは思うのです。

いっしょ
一緒におめでとうございます！



同じく第二WDから受賞された田中里奈さんは、今回もおよそ1年間かけてピーズアートに取り組みました。長年見守り支えて下さっているお母さまと。

令和2年 **4月1日** **open**

犬山市に就労移行支援・就労継続支援B型

サニーライフめいしんれん

所長からのあいさつ

かねてより準備をしておりました『サニーライフめいしんれん』がお陰様で4月1日にオープンの運びとなりました。

一人ひとりを大切に 誰もが地域で安心して暮らせる社会を目指す～地域でつながり、ともに歩む名身連～ の理念のもと、心のこもった確かな技術を提供し、地域のニーズに寄り添った支援ができる事業所を目指してまいります。

尋木 佐一

就職応援



就職に向けて
一緒にトライ
しませんか



犬山駅東口から
徒歩10分です

就労移行支援

就職に向けた準備支援、求職活動支援、就職後のサポート等を行う場所です。定員 10名

就労継続支援 B 型

就職に向け日常生活のリズムや目標、課題を整理しながら働くための基礎づくりを行う場所です。定員 10名

ご利用できる方

身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病の方。

ご利用エリア

犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町及び近隣の市町村に在住の方。

利用料

所得により異なります。最寄りの市町村役場でご相談ください。利用料が発生しない方は多くいらっしゃいます。

工賃

訓練の一環として模擬職場プログラムで得ることが出来ます。3,000円/月から。

開所日

月～金曜日 9:30～16:30

休日

土・日・祝日及び 12/29～1/4

ご利用相談・見学のお問い合わせ先

社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会

サニーライフ めいしんれん

犬山市松本町四丁目56番地

TEL 0568-54-2983 FAX 0568-54-2984

E-mail sunnylife@meishinren.or.jp

アクセス



こんな悩みや葛藤の中にいませんか

会社の面接がなかなか受からない

やりたいことや適職がわからない

リハビリを続けているが
その他やりがいを持ちたい

一緒に考えて
行きましょう

人間関係に自信がない

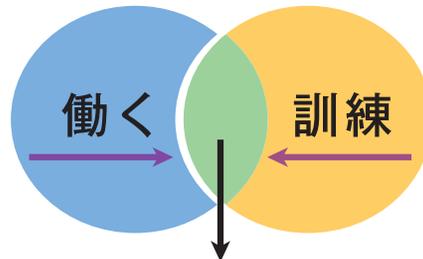
就職前に準備訓練を受けたい

病院を退院したがやることがない

サニーライフめいしんれんが応援すること

障害個性に応じた働く場の選択・調整

- ・短時間就労、フルタイム就労
- ・職場のナチュラルサポート
- ・気兼ねなく相談できる職場
- ・自分にあった職種の選択



挑戦するエネルギーをもたらす支援環境

- ・やっつけて楽しい訓練環境
- ・ステップアップするプログラム
- ・多様な課題解決プログラム
- ・気づきが得られるグループワーク

自分にあった働き方の実現

プログラム

